

第2回町田市成瀬センター建替検討委員会

日時：2011年11月10日（木）

午後6時～午後8時

場所：成瀬センター第2会議室

次 第

1 開会

2 市民部長挨拶

3 建替の前提条件の再確認

【資料1】【資料2】

4 成瀬センターづくり会議で出た主な意見と諸室等の配置イメージ

【資料3】【資料4】【資料5】

5 議題：増築棟およびホール棟の検討

【資料6】

6 その他

7 閉会

【配布資料】

資料1 第1回成瀬センター建替検討委員会会議録要旨

資料2 建替の前提条件について

資料3 成瀬センターづくり会議ニュース第1号

資料4 成瀬センターづくり会議ニュース第2号

資料5 成瀬センター諸室等配置イメージ

資料6 増築棟およびホール棟の検討

第1回 町田市成瀬センター建替検討委員会

会議録要旨

開催日時：2011年10月18日(火) 18:00～20:00

開催場所：町田市成瀬センター会議室(2)

出席委員：前島正光、中里孝夫、稲木健志、鈴木生一、田中米司、井上祐次
萩原勝生、赤澤純、伊藤倭子(敬称略)

欠席委員：市川豊

市側出席者：平野市民部長、落合市民協働推進担当部長、河野市民部次長、三好市民総務課担当課長、大谷市民協働推進課長、渋谷営繕課営繕第一係長、藤原市民総務課担当係長、服部市民協働推進課担当係長

コンサルタント：湯田、塚田、五十嵐

傍聴者：無

《次第》

1. 開会
2. 委嘱書の交付
3. 挨拶(市民部長・市民協働推進部長)
4. 委員紹介
5. 委員長及び副委員長の選出(互選)
6. 成瀬センター建替検討の背景と目的
7. 成瀬センター建替検討の体制とスケジュール
8. 成瀬センター建替について
9. その他
10. 閉会

《配布資料》

- 【資料1】 町田市成瀬センター建替検討委員会委員名簿
- 【資料2】 町田市成瀬センター建替検討委員会設置要綱
- 【資料3】 成瀬センターの建替検討の背景と目的
- 【資料4】 成瀬センター建替検討体制とスケジュールについて
- 【資料5】 現在の成瀬センターについて
- 【参考資料】 第1回成瀬センターづくり会議で出た主な意見

1. 開会

事務局の進行により開会。

2. 委嘱書の交付

市長の代理として平野市民部長から各委員に委嘱書を交付。

3. 挨拶

(市民部長)

成瀬センターもいよいよ本格的に建替に向けて動き出した。昨年度取りまとめた基本構想策定を受けて、委員も新たに町内会代表、運営委員会代表の方々、そして学識経験者として町田市建築審査会会長でもある前島氏にもご参加いただき、今年度中を目途として成瀬センター建替の基本計画策定に入りたいと思っている。また、検討委員会のほかに公募による市民と施設利用者の方にご参加いただき市民ワークショップを開いている。10月2日に第1回のワークショップを開き、個人としての要望を募っている。その要望を事務局で集約して検討委員会にフィードバックしていく。これらの結果を十分尊重して基本計画に活かしていきたい。なお検討委員会、ワークショップの両組織以外にも市役所内に連絡会を設け、各部署から意見を募り基本計画をまとめていく。本検討委員会は全4回を予定しているので是非ご協力をいただきたい。

(市民協働推進担当部長)

市民部市民協働推進課は、町内会自治会と行政との仲立ちを主な業務とすると共に各市民活動の支援を行っている。そのような市民活動をする上での地域の拠点整備が重要である。町田市には13ヶ所の地域センターがあり、その中で支所機能を持たないセンターの4ヶ所を市民協働推進課が担当している。成瀬センター、つくし野センター、三輪センター、木曾森野センターがそれである。成瀬センターは非常に多くの方に利用していただいております、年間7万人の利用がある。先日2日間にわたり成瀬センター祭りが行われ、参加者が4千人以上となった。まさしく地域の方の重要な拠点となっている。今回は建替という好機であり、さらに新しく使いやすいセンターに生まれ変わって欲しい。皆様の活発なご意見を頂戴できればと思う。

4. 委員紹介

事務局から町田市成瀬センター建替検討委員会設置要綱に基づく委員10名について氏名、所属を紹介し、市川委員が欠席の旨報告。その後、各委員、事務局職員、コンサルタントの順に自己紹介。

5. 委員長及び副委員長の選出

事務局から町田市成瀬センター建替検討委員会設置要綱第5により、委員長及び副委員長の選出を提起。委員長に前島正光氏を全委員一致で選出。続いて副委員長に中里孝夫氏を全委員一致で選出。

(委員長)

委員会は来年2月までに今日も含めて4回という限られた期間となるが、副委員長をはじめ委員の方のご協力をいただきながら円滑に会議を進めていきたいと思う。また、次年度以降へしっかりとバトンを渡していきたいので実のある議論をしたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

(副委員長)

昨年の委員会にも参加させていただき、その他いろいろな委員会にも参加させていただいている。よろしくお願ひしたい。

6. 成瀬センター建替検討の背景と目的

事務局から【資料3】成瀬センターの建替検討の背景と目的について説明。

(委員)

あおぞら学童保育クラブはいつ頃移転予定か。

(事務局)

既に移転は完了して建物は市民部の管理となっている。

(委員)

あおぞら学童保育クラブの跡地は施設利用者用駐車場になるのか。

(事務局)

本検討委員会での検討課題となる。

(委員)

この地域に地区社協(地区社会福祉協議会)を設置して欲しいとの意見があり、いま各団体が取り組みを進めている。ただ地区社協の拠点となる場所が無いのが現状である。市主催の地域福祉のワークショップを行った際に成瀬センターが建替をする計画を伺い、拠点となるスペースを作るように働きかけたらどうかというアドバイスをもらった。実現するかどうかは別にして検討に値するのではないか。高ヶ坂は候補となる場所がない。成瀬地区には成瀬センターがあるので検討いただきたい。

(事務局)

地区社協用の建物がないことは承知している。しかし、どのような場所に設置するか市としての意思決定が必要となる。現段階では回答は難しい状態だが、ご要望としてお受けすることは可能である。

7. 成瀬センター建替検討の体制とスケジュール

事務局から【資料4】成瀬センター建替検討体制とスケジュールについて説明。

(委員長)

検討委員会の開催時間は夜か。

(事務局)

本日と同様に午後6時から午後8時を予定している。

(委員長)

資料にワークショップ通信やホームページ情報更新とあるが、どのようなものをお知らせするのか。

(事務局)

検討委員会については会議の議事録をホームページに掲載する予定である。別途進めているワークショップについては広報紙を発行してホームページ上にも掲載することを予定している。

(委員長)

議事録の作成形式にはいろいろあるが、一字一句記載されるような書式か、または要約のような書式か。

(事務局)

議事録要旨として掲載予定である。

(委員)

ワークショップの参加者は何名程度か。

(事務局)

現在26名となっている。

(委員)

男女比はどれくらいか。

(事務局)

女性が8割程度占めている。

(委員)

既にワークショップにおいて市民からの意見は集まっているか。

(事務局)

参加者にカードを用意し、そのカードに意見を記入していただき集約している。

(委員長)

当委員会は事務局が提案する資料に対し、意見を述べるということによろしいか。

(事務局)

意見を集約しながら少しずつ検討を進めるが、資料についてはある程度見てわかる形にして事前に準備する必要がある。市が函面等を提示してそれらに対して検討をしていただく予定です。

(委員)

この検討委員会における意見は尊重されとの認識でよろしいか。

(事務局)

当然、尊重したい。

(委員)

ワークショップや検討委員会において出された意見について、良い意見は吸い上げてもらえるのか。

(事務局)

ワークショップの意見は検討委員会にフィードバックする。ワークショップと検討委員会は並列であると考えている。検討委員会で出来上がったものを再度庁内で検討し直すことはない。検討委員会で出た意見を案として行政が受け止めて、最終的な計画を市として作成する。

(委員)

成瀬センターの利用者がワークショップに参加しているか。

(事務局)

ワークショップ参加者は公募により決定している。第1回ワークショップにおいては活発な意見交換が行われた。ただ公募市民による意見のため個人的な思いが強い。全ての意見を実現するのは難しいので、地域の代表である当委員会の検討を併せてより良い案を作成していきたい。

(委員)

成瀬センター運営委員の方も何名かワークショップに参加されているようだ。運営委員は13の自治会・町内会から推薦してもらうほか、153の利用者団体全てに参加希望を募っている。今回のワークショップでは10人前後の方が参加している。

(委員)

以前成瀬センターホール棟増築の際にも検討委員会があったと記憶している。その際に意見は多数出たが予算上の問題で実現できないことが多かった。今回の建替についてはどの程度まで実現できるのか決まっているか。

(事務局)

耐震性能や老朽化の問題から旧校舎棟は建替えることが決定している。また、ホール棟については2006年に庁内で実施した市有建築物マネジメント調査により、築年数や新耐震基準で設計されていることを考慮して改修が有利との結論が出ている。

(委員)

あおぞら学童保育クラブは基本的には更地にする予定か。

(事務局)

あおぞら学童保育クラブを含めた範囲が今回の検討対象となる。駐車場が不足しているとのこと意見も多数いただいているので、そのような用途も含め検討していく。

(委員長)

今回の建替において手を加えられる部分とそうでない部分を整理する必要があるのではないか。

(事務局)

まず旧校舎棟は建替となります。ホール棟については改修を行う。グラウンドは市としては手を加えず残したいと考えている。植栽部分、駐車場は手を加えたいと考えている。

(委員長)

グラウンドを残したいという理由について説明が必要である。

(事務局)

成瀬センターは防災計画上、避難場所に位置付けられている。応急給水槽が埋設されているなどグラウンドは残さなければならない。

(委員)

成瀬センターは明治6年にできた町田で一番古い学校の跡地である。文化的な観点からかつてここが学校であったという跡のようなものは残すべきである。

(事務局)

考慮していきたい。

(委員)

ホール棟の耐用年数は一般的にどの程度か。

(事務局)

一般的に鉄筋コンクリート造はおおよそ50～70年となっている。ただし、構造基準は大きい地震などにより指針が更新されることがある。昭和56年に大きな地震があり現在の新耐震基準に見直されている。ホール棟は昭和63年に造られているので耐震性は十分に確保されている。

(委員)

ホール部分は改修で旧校舎部分は建替となると、将来ホール棟を建替える際に“てれこ”になってしまう。本当にホール棟が改修だけでよいのかという疑問がある。

(事務局)

設備的な給水配管、電気配線、空調関係、音響設備は20数年経っているもので、耐用年数は考慮する必要があると考えている。構造的にはあと30～40年は問題がないと考えている。

(委員長)

個人的な意見として公共施設の耐用年数が20～30年では問題であり、しっかりとした物を作るべきである。ホール棟については新しい耐震基準で建てられているため構造上問題は無いが、建物は構造だけではなく設備や内装などのいろいろな要素があり、それぞれ寿命が違う。そのため改修が必要になってくると考えている。心配されている“てれこ”になるということは短いスパンでは発生しない。

(事務局)

校舎棟が現在築40年であり、市の本庁舎とおおよそ同じサイクルの建替となる。ホール棟については築23年であり構造的には若いと言える。ただ設備としてはだいぶ傷んでいるので大規模な改修になると思われる。

(委員)

2002年9月に市議会において請願が採択されている。その内容は震災時に安全性が確保でき、かつバリアフリー化対応の施設にして欲しいとなっている。

(委員長)

この検討委員会でどうすべきかを検討していきたい。耐震のことは非常に重要な要素であるが、単に耐震の問題だけにとどまらず使いやすい施設にしていきたい。

(委員)

最終的には市長が言われているように町田に住んでいてよかった、成瀬センターができてよかったという評価を作っていきたい。2007年の成瀬センター祭りにおいて241人のアンケートを取った際に、ホールについては音響、照明、トイレ(ウォッシュレット)等についての意見が寄せられた。地震については茨城空港の屋根が先日の地震で落ちたとか、東京交響楽団が利用しているミュージア川崎も2年間使えないなどの例がある。どの程度揺れるとどうなるかなど予測が難しいと思うが、できるだけ地震に対して適切な設計をお願いしたい。

8. 成瀬センター建替について

事務局から【資料5】現状の成瀬センター 【参考資料】第1回成瀬センターづくり会議で出た主な意見についてを説明。

(委員長)

資料の説明を受けて各委員から改めて成瀬センター建替に対する考えや思いをお話したい。本日の資料の内容でも普段感じていることでもどのような意見でも結構。

(委員)

子供たちの居場所に問題があるように感じている。何か悪いことを一度でもしてしまうと、それにより施設からはじきだされてしまう。昔は卓球をして、元気に遊んで、そして本を読むような場であった。しかし、卓球スペースがなくなり、子供たちの居場所がなくなった。そのため、かえで文庫に本に関する事以外の子供が来るようになって遊び場所になっている。子供たちが安心して来られるセンターを作っていきたい。センターから出されてしまい建物外の階段付近に座り込んで遊んでいる今の状況は心配。しっかりと本がある部屋できちんと椅子に座れる環境を用意してあげたい。成瀬地域には図書館が無いのでかえで文庫を充実させていきたい。ふらっと入って本がある場所が必要であり、それには司書がいて図書館の管轄フロアがあるのが一番良いと考えている。そのようにするにはどうすれば良いかを考えている。市や図書館の方にご意見をいただき、できるだけよいフロアを作りたい。

(委員)

ワークショップの意見を拝見したが、みなさん大体同じ意見を持っているように見受けられる。高齢者と子供がうまくコミュニケーションがとれて一緒に過ごせる場所がお互いのために良い。子供たちにとって親が忙しくて不在の間に高齢者の方に躰も含めて見ていただける状況を作れると良いと考えている。また、防災にも力を入れていただければと考える。

(委員長)

今のご意見の一部は他の町内会の集会施設でも活用できる意見である。

(委員)

現在、フォークダンスでホール棟を利用している。建替えることでセンター祭の荷物搬入に使うエレベーターやバリアフリーが実現すると大変助かる。かえで文庫は子供たちやお母さん方の居場所にもなっているのです是非存続して欲しいと感じている。

(委員)

前年度の建替検討概要版を見せていただいた。前年度に検討された基本理念とワークショップで出された意見を拝見すると共通点があると感じる。

防災拠点としての位置づけは東日本大震災のこともあり、非常に重要と考えている。免震や耐震を考えなければならないが、想定外の事態にも備えた更なる強化をしていきたい。従来の防災拠点の考え方にとどまらず、今後何十年も使う施設であり、先を見据えた検討を行いたい。また見た目(デザイン)よりも機能を重視したい。できれば皆さんが使いやすく、多様な用途に適用できるものにしたい。必要な機能はいろいろあるが、限られたスペースや予算というものを考慮した上で、理想だけではなく何が本当に必要か具体的な検討を行いたい。子供から高齢者までが幅広く来る施設なので、日々集まることができるコミュニティーをつくるのが防災にも繋がると考えている。

(委員)

子供の居場所に関する意見がでたが、これについては子どもセンターが非常に参考になる。南地区には子どもセンター「ばあん」、鶴川地区には子どもセンター「つるっこ」、相原地区には「ばお」、また忠生地区にも設置することが決まっている。最後の一つを何処にするかが検討されているようである。ただ今日まで社会を担ってきた高齢者も考慮すべきである。子どもの居場所があり、音楽室もあり体育館もある。これは子どもセンターの役割であるが、子どもセンターと高齢者の憩いの場をミックスした場に成瀬センターをするのが良いのではないかと。

(委員)

地域防災のモデルになるような建物、また管理運営面でも無駄のない施設、さらに安全安心も考慮していきたい。悪い行動を起こさせないような配置設計をすべきである。またハードだけでなくソフトで対応していくことが大事ではないか。近隣では横浜市の奈良地区センターが良くできていると思う。使い方として学習、図書の間として広く開放するのはどうか。多目的室は無目的室にならないよう注意が必要である。また、駐車場も適度に確保していただきたい。

(副委員長)

南地区にはセンターが4つある。そのうち成瀬には2つある。考え方によっては恵まれているようにも見える。例えば忠生地区には1つとなっている。子供の居場所については、児童青少年課の会議で「まちとも」という小学校の校庭を開放する子供の居場所確保について話してきた。小学校が市内全部で42校、そのうち38校で実施している。この管理をシルバー人材センターに委託しているが、地域で対応したらどうかとの話もある。子どもセンターとしての活用について注意すべきは利用者が施設周辺の子供達だけになってしまうことである。子供の移動範囲では遠く離れた子どもセンターを利用することができない。利用できる範囲が限定されるため更に多くの施設が必要である。また地区社協の設置を高ヶ坂成瀬地区で考えたい。近日中に社会福祉協議会と調整する予定である。

(委員長)

確かに他の地域に比べて恵まれているように感じる。コミュニティー施設を考えると、この地域に集会所が13箇所ある。これらをトータルすると1,600㎡となる。使い方によってこれらと連携すると

いうのはいかがか。全てセンターだけで解決するのではなく広域で考えるべきである。また、今回建替える施設は80年とか100年間使われ続けて欲しいので先を見越した検討をしたい。そのためにはどのような施設にしたいのかということを確認にすることが重要である。それを考えると次回の会議が非常に重要である。子供、高齢者の両者に良い環境というのは両者が噛み合うことである。例えばある国では地区の中央にみんなが集う施設があり、その周辺に高齢者が住み、子どもが住み、幼稚園があるなど、施設がバラバラにあるのではなく互いに連携している。ホール棟についてはどのような使い方をするかによって音響設備が全く変わってくる。プロが利用するような音響設備が必要なのか、一般の方が楽しめれば良いのか。何をつくりたいかが重要である。この施設は親しめる施設であるべきだと思いますが、「また来たい」「親しみのある」というのは言葉で言うのは簡単だが、単に使い勝手を指すのではなく空間や色や広さなど考慮する項目が多く非常に難しい課題である。次回はワークショップで出た意見も踏まえながらもっと絞り込んだ検討を行いたい。手を加えられるスペースの中でどのような配置、動線にするのが望ましいのか。またみんなが入りやすい施設にするにはエントランスが重要となる。各自考え方を整理をしていただき次回検討を行いたい。

9. その他

(事務局)

次回の検討委員会は11月10日(木)午後6時開始となる。何か意見・要望があれば今週中に市民総務課まで連絡していただきたい。

10. 閉会

事務局の進行により閉会

以上

第1号

2011年10月28日発行

成瀬センターづくり会議ニュース

成瀬センターづくり会議が始まりました！



成瀬センターの建替に向けて市民が話し合う「成瀬センターづくり会議」が発足しました。センターづくり会議は、公募による市民の皆様27名のメンバーと市の事務局で構成されており、全5回の会議を予定しています。第1回会議は2011年10月2日（日）に開催され、施設全体に関して話し合われました。「成瀬センターづくり会議ニュース」では、会議で話し合われた内容を毎回お届けする予定です。

第1回成瀬センターづくり会議次第

1. 開会
2. 成瀬センターづくり会議の進め方
会議のスケジュール・検討テーマについて
3. 成瀬センターの現状
成瀬センターの現状説明
4. グループに分かれて話し合い
成瀬地区のセンターとしての意義や理念について
成瀬センター建替に望むこと、気がかりなこと
5. 全体でのまとめ

会議開催のスケジュール

- 第1回成瀬センターづくり会議
平成23年10月2日（日）
○成瀬センター施設全体に関すること
- 第2回成瀬センターづくり会議
平成23年10月30日（日）
○施設の構成と利用に関すること
- 第3回成瀬センターづくり会議
平成23年11月20日（日）
○建物や施設の作り方について
- 第4回成瀬センターづくり会議
平成23年12月18日（日）
○基本設計に対する条件・方針
○基本計画（案）のまとめについて
- 第5回成瀬センターづくり会議
平成24年1月22日（日）
○基本計画（案）のまとめについて

会議全体での意見・感想

第1回成瀬センターづくり会議に参加いただいた皆様から、全体について次のようなご意見・感想をいただきました。掲載の都合上、要約しています。ご了承下さい。

意見・感想

- ・ 「2010年度建替の意義や理念」が、既にあることによって具体的なイメージが広がった
- ・ 全ての年代の人がふれあえる場所にしたい
- ・ 施設は使用料を取る必要があるか、ないか
- ・ 利用者を増やすことが目的になってはいないか
- ・ 建替期間中の施設利用はできなくなってしまうのか
- ・ かえで文庫は是非残して欲しい
- ・ 中高生をはじきださないような施設にしてほしい
- ・ ホールの設備（音響等）についても考慮して欲しい
- ・ 会議が定員に満たなかったのが残念だった

成瀬センターの敷地



グループでの話し合いで出た意見

成瀬センター建替に望むこと、気がかりなことについて、グループに分かれて話し合いをしました。

Aグループでの意見

望むこと

- <全年代の人にとって>
 - ・高齢者と子供がふれあえる場所に
 - ・全ての年代の人にとっての頼りどころ
 - ・色々な年代の人が関わり、考えや遊びなどを共有できる場であってほしい
 - ・中高生の利用できる施設
 - ・乳幼児と母親（父親）が利用できるスペース
 - ・子供がたくさん遊んだりふれあえる場であってほしい
 - ・子供センターとしての機能がほしい
 - ・高齢者の居場所にもなる
- <建て替え中の対応について>
 - ・建て替え中のかえで文庫、各サークルはどうなるか？
 - ・建て替え中かえで文庫をあおぞら学童クラブ跡地で利用したい
 - ・建て替え中かえで文庫は旧青空の建物が使えるとよい
 - ・建て替え中グラウンドは使えるのか？
- <ホールの建て替えや修繕について>
 - ・近所に迷惑をかけない（ホールの騒音）
- <無料利用について>
 - ・無料で子供達が安心して憩える場所を
 - ・無料で使える設備、空間に
 - ・有料空間と無料空間の割合

気がかりなこと

- <全年代の人にとって>
 - ・中高生をはじきださない施設
 - ・障害のある人をはじき出さない
 - ・バリアフリー化を
- <建て替え中の対応について>
 - ・建て替え中のかえで文庫、各サークルはどうなるか？
 - ・建て替え中かえで文庫をあおぞら学童クラブ跡地で利用したい
 - ・建て替え中かえで文庫は旧青空の建物が使えるとよい
 - ・建て替え中グラウンドは使えるのか？
- <ホールの建て替えや修繕について>
 - ・修理ではなく建て替えをしてほしい
 - ・音響設備の整備、現状は不満がある
 - ・防音設備のある部屋
 - ・ホールの建て替え対象（防音問題）
 - ・旧校舎を残してホールを作ったので使いづらいので、全体として考えて欲しい
- <かえで文庫について>
 - ・かえで文庫を鍵のないフリーなスペースにしてしまうと本の管理がとても不安
 - ・本のそばには人が必要

<かえで文庫について>

- ・かえで文庫を子供の居場所として一室欲しい
- ・子育ての頼りどころとしてのかえで文庫の存続

<その他>

- ・スナックがあったらいい
- ・資材などを保管しておく（本やボール etc）
- ・65歳以上の方々の働ける場（作業できる場所）
- ・設計上、ホールロビーと受付空間を別にする
- ・フリーで来た個人もすぐに利用できる施設
- ・身近に文化（物を作る風景）がある環境
- ・廊下、壁などに自由に使える展示空間

Bグループでの意見

望むこと

- ＜あらゆる世代＞
 - ・あらゆる世代が利用しやすい施設
- ＜ぶらっと自由に使える場所＞
 - ・ロビーを大きくとってほしい
 - フリーで使える場に
 - ・フリースペース、空間の確保（車座できる）
- ＜かえで文庫＞
 - ・小さな子供が安心していられる様に。オープンではない文庫としての部屋
 - ・かえで文庫のスペースが欲しい
 - ・かえで文庫の存続
- ＜設備（防音）＞
 - ・防音設備を充分にして下さい
 - ・会議室を減らして軽スポーツ、音楽、ダンス等の多目的室を増やす
 - ・エントランスと多目的スペースの構造
 - ・音楽関係が多く使っているのでピアノがある部屋をたくさん
- ＜設備（運動）＞
 - ・運動ができる場所（グラウンド利用）
 - ・幼少向け卓球室を設置して欲しい
- ＜ホール＞
 - ・ホールスペースと建替分の一体化
 - ・耐用年数 50 年程度、次世代の人達のために有効な施設
- ＜運営委員会＞
 - ・今後も運営委員会は必要
- ＜全体＞
 - ・部屋の利用率を考えて部屋造りをしてください
 - ・駐車場の完備

Cグループでの意見

望むこと

- ＜安全・安心＞
 - ・各年代が使えるようにしてほしい
 - ・子供が利用できるように指導、アドバイスできる人がほしい
 - ・くつろげるロビーを
 - ・ホール控え室の改善
 - ・管理、警備
 - ・子供のいこいの場
 - ・無料で利用できる会議スペース
 - ・子供が無料で遊べるスペース
- ＜外部環境＞
 - ・グラウンドはできるだけこのままの広さで
 - ・植栽の下に野草のはえているスペースを
 - ・景観、ランドマーク
 - ・午前のグラウンドを幼児が使用できる様に
 - ・グラウンドの利用
- ＜かえで文庫の存続と拡張＞
 - ・かえで文庫が図書室のように大人も利用できるようにしてほしい
 - ・文庫の充実に市職員を配置させる予定はありますか
 - ・文庫での読書と関りが持てるスペースの確保
 - ・かえで文庫は残してほしい
 - ・図書館
 - ・かえで文庫内にお話室の設置を
- ＜その他機能＞
 - ・機能、用途について
 - ・防音
 - ・利用しやすい駐車場
 - ・広い調理室
 - ・バリアフリー、スロープかエレベーター
 - ・エレベーター
 - ・活動の道具をおける場所が欲しい

気がかりなこと

- ＜かえで文庫＞
 - ・オープンスペースではかえで文庫の本が心配です
- ＜ホール＞
 - ・ホールはこのままでいいのですか
- ＜子供の居場所＞
 - ・中高生が集まってこられるスペース
 - ・子供の居場所がない
 - ・子供の居場所
- ＜全体＞
 - ・利用者の安心、安全
 - ・場所を利用しようと思っても競争率がはげしくて取れない

気がかりなこと

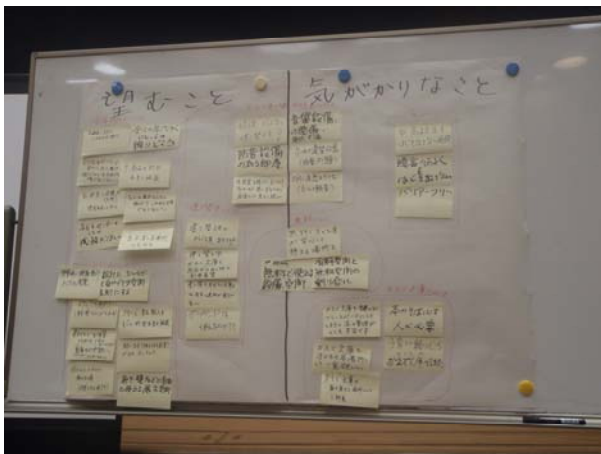
- ＜安全・安心＞
 - ・ホールの老朽化
 - ・単に場所を貸すだけにはなってほしくない
- ＜外部環境＞
 - ・近隣住民への配慮
 - ・学童保育クラブ跡の利用



グループ会議の様子



全体でのまとめの様子



たくさんの意見をいただきました

■ 事務局だより

いよいよ皆様待望の成瀬センター建替の基本計画の検討がスタートしました。先日の第1回成瀬センターづくり会議では、参加いただいた皆様の成瀬センター建替にかける熱い思いを肌を感じ身の引き締まる思いでした。

これから約半年をかけて皆様のご意向を踏まえながら「ニュー成瀬センター」を目指した計画策定を着実に進めていきたいと思っています。

市内でも成瀬地域は特に若々しいイメージがあります。同時に今回建替える旧南二小周辺は明治6年に成高学舎が発祥した由緒ある地でもあります。世代を越えて受け継がれてきた歴史と将来に向けた新しい機能が融合する建替計画になるよう皆様と共に頑張ります。

(事務局K・M・F)

■ 次回の成瀬センターづくり会議は

■日時

平成23年10月30日(日曜日)

13時30分～15時30分(予定)

■場所

成瀬センター ホール

■主なテーマ

施設の構成と利用に関すること

- ・ 施設全体と配置について
- ・ 施設に必要な機能と空間について

第2号

2011年11月10日発行

成瀬センターづくり会議ニュース

施設の構成と利用についての検討が始まりました！



第2回成瀬センターづくり会議が2011年10月30日（日）に行われました。テーマは「施設の構成と利用」。成瀬センターに必要な機能、空間について多数の参加者により討議されました。グループに分かれての話し合いでは施設の使い方、必要な設備や広さ等について活発な意見交換が行われました。

第2回成瀬センターづくり会議次第

1. 開会
2. 本日の会議の進め方
3. 第1回会議で出た意見の確認
4. ワークショップ検討用資料の記入方法
5. グループに分かれて話し合い
必要な機能、空間について
6. 全体でのまとめ

会議開催のスケジュール

第1回成瀬センターづくり会議
平成23年10月2日（日）
○成瀬センター施設全体に関する事

終了

第2回成瀬センターづくり会議
平成23年10月30日（日）
○施設の構成と利用に関する事

第3回成瀬センターづくり会議
平成23年11月20日（日）
○建物や施設の作り方について

第4回成瀬センターづくり会議
平成23年12月18日（日）
○基本設計に対する条件・方針
○基本計画（案）のまとめについて

第5回成瀬センターづくり会議
平成24年1月22日（日）
○基本計画（案）のまとめについて

会議全体での意見・感想

第2回成瀬センターづくり会議に参加いただいた皆様から、全体的な事柄について次のようなご意見・感想をいただきました。掲載の都合上、要約しています。ご了承下さい。

意見・感想

- ・建物内で行われるイベントとグラウンドで行われる模擬店等のイベントとの間に隔たりが感じられ一体感が少ないと思う。
- ・前回のまとめは、次回に出席した際にもらっているが、開催についての通知と一緒に送ってもらえるとありがたい。
- ・運営委員会の必要性も大きい。市の運営というより、地区、地域による運営を重視し、より地域のためのセンターになることを望みます。
- ・リサイクル文庫を設けることで読書へのきっかけ作りに役立つのではないかと。リサイクルする本は、誰かに読んで欲しいという本に対する気持ちと本との出逢いがある。
- ・かえで文庫の存続は地域の力の継続であり、図書館とは全く別物として捉えなくてはならない。

■ グループでの話し合いで出た意見

Aグループでの意見

■和室

- ・和室はあった方がよい（着物着付け、乳幼児あそび、ゆったり体操 etc）が、床の間などは最低限に
- ・水屋等、お茶やお花の教室ができる部屋に

■会議室・小会議室について

- ・レンタルオフィスとして有料で貸し出すのどうか
- ・気軽に集える会議室で予約を取りやすく
- ・安価な料金（もしくは無料）で少人数でも借りれるように

■会議室（かえて文庫）

- ・リサイクル文庫はできないか（成瀬地区にお住まいのみなさんから古本を集めてつくる図書館）
- ・現在のように残して子供の居場所だと思えるスペースに
- ・靴をぬいで入れる、子供がハイハイできるように

■多目的室

- ・理科室、料理講習室としても利用したい
- ・アトリエスペースがあると良い
- ・楽器が演奏できる防音室に
- ・自然光が入る天井が高い部屋

■スポーツ室

- ・中高生が軽スポーツをすることができる部屋に（卓球室のような）
- ・壁に鏡の設置、床はフローリング、更衣室ロッカー室の設置

■運営委員会室

- ・部屋として確保する必要性は低い

■喫茶スペース

- ・喫茶、軽食コーナーがあると良い（経営は外部委託等）
- ・高齢者も利用しやすいような売店、カフェ、弁当や給食

■ホール

- ・ホールの防音設備、内装材の見直し

■グラウンド

- ・グラウンドにバスケットゴールを（近隣にはまったくない）

■育児空間

- ・子どもサイズのトイレスペースの確保
- ・授乳室、予防接種時に赤ちゃん連れで来る人がいる
- ・保育室、ミルクを作ったりおむつ交換のできる空間が欲しい

■フリースペース

- ・展示のできる空間、壁
- ・自由に来て過ごせるフリースペース、多機能でマルチなフロアを（使用料フリー）
- ・勉強室があると良い
- ・リサイクルコーナー（本、衣類、雑貨）を作れないか（ゆずります、希望しますなど）

■防災

- ・かなりの地震に耐えられる構造のセンターにする
- ・防災倉庫と設備、食料等の確保

Bグループでの意見

■和室

- ・乳幼児連れ親子の懇談、親睦のために利用
- ・着付教室、お習字教室、舞踊、琴、三味線として利用
- ・現状よりももう少し広めの和室が欲しい
- ・防音ドアで区切ると隣室の話し声がきこえなくて良い

■会議室・小会議室

- ・将棋、囲碁は会議室で可能
- ・多目的にも転用できるように広い会議室も必要ではないか
- ・インターネットケーブルが欲しい
- ・プロジェクター等、ある程度の視聴覚設備があると良い
- ・椅子、テーブル、ホワイトボードの設置

■会議室（かえて文庫）

- ・子供の読書のためのお話会の部屋として利用
- ・市の図書館の1つに入れていただき、他の図書館にある本も取り寄せられるようにしたい
- ・子育て中の親の交流、身近な図書館機能
- ・学習スペースも欲しい

■多目的室

- ・音楽室、ダンス室、軽体操、太極拳、気孔などで利用
- ・ピアノ、鏡、机、椅子、音響設備が欲しい
- ・インターネットケーブルの設置

■スポーツ室

- ・卓球室として利用
- ・小さい子供から楽しめるように無料で

■フリースペース

- ・乳幼児連れの母親の交流場所
- ・ちょっとした打合せの場所
- ・ソファ、椅子、テーブルの設置、裸足になれる絨毯など
- ・雨の日など子供たちが集い自由に遊ぶ場所
- ・お茶を飲むような空間に（赤ちゃんからお年寄りまで）
- ・休憩室として利用

■調理室

- ・男、女、子供みんなのために必要
- ・調理室は必要、防災時にも使用する
- ・公民館の調理実習室のように

■倉庫

- ・ロッカースペースがあったら作れると良い
- ・各利用団体の備品を収納しておく場所

- ・子供や乳幼児が利用しやすいよう1階に設置
- ・かえで文庫にお話室が欲しい
- ・中高生にマンガ本スペースも
- ・防音に配慮（わらべうたをするので）して欲しい

■多目的室

- ・狭い部屋ばかりでなく乳幼児のサークルやヨガなどの軽体操ができる部屋が欲しい
- ・しっかりと防音設備のある音楽室、大きな音でもいいように
- ・工芸、工作、陶芸、木工などができるように、センター主催行事などがあると良い

■スポーツ室

- ・壁面が鏡のスポーツ室が欲しい

■印刷室

- ・印刷室は受付付近に持ってきて不具合や初めての利用の際に質問ができるように
- ・印刷機、コピー機や作業ができるテーブルなどがまとまっている部屋があるといい

■フリースペース

- ・かえで文庫の延長と考えて子供の遊ぶスペースを設ける
- ・子供相手の専任者をおく（毎日でなくても可）
- ・幼い子供が日中に母親と共に来て地域コミュニティの中に自然と入っていけるように
- ・雨の日も母子がくつろげる様なオープンスペースで大型遊具あるなど
- ・パソコンを持ち込んで大人も勉強できる様な自習室があると良いのではないかと
- ・障害のある子供達が、ある種の訓練ができる様な部屋や設備があると良いと思う（具体的なことは専門家にお聞きする）
- ・喫茶コーナー設置（コーヒー、ジュース）を高齢者のお手伝いで運営する
- ・自由に使えるロビー（ソファ、椅子、テーブルを沢山）

■給湯室

- ・給湯室の拡大と設備の改善

■ホール

- ・ホールを2分割して多目的にも使えるようにする（発表会、ダンス、スポーツ）
- ・ホールの音響設備、舞台横でコントロールできるもの、照明、音量

Cグループでの意見

■和室

- ・5~10人程度で利用できるような小さな和室が欲しい

■会議室・小会議室

- ・会議室の壁が可動式になり、大きくも小さくもできると良い
- ・プロジェクター、スクリーンを設ける

■会議室（かえで文庫）

- ・文庫と会議室を兼用するのは本の管理や読書カードなど個人的な情報が漏れることが心配
- ・乳児玩具の衛生面が心配
- ・かえで文庫を図書館として充実して欲しい
- ・かえで文庫の一隅が語りを聞かせてくれるスペースであったり、小さな子供の遊具がいくつかあったりして、若い世代が足が向く設備としていただきたい

■調理室

- ・流し、ガス台を設置する（換気扇を設けて火力を十分使えるように）

■事務室

- ・大きめに作っておくこと（机、棚、IT設備など増えてくることを想定する）

■トイレ

- ・トイレを洋式にして欲しい

■グラウンド

- ・フェンスを防球用に高く
- ・木の緑や花壇で目を（気持ち）ほっとさせるスペースを
- ・緑を多くしたい、緑のボランティアサークルを作って管理してもらう
- ・湧き水周辺を整備して、外に憩いのスペースを
- ・適度な日陰が欲しい

■駐車場

- ・50台は入るようにして欲しい（旧青空保育跡地だけでも20~30台可）

■運用

- ・子供が楽しめる様に学童指導員の常時配置

■全体

- ・三階建以上にする（エレベーターを設けるなら1, 2Fじゃもったいない・駐車スペースを増やせる・屋外緑のコーナーも作れる）



■事務局だより

成瀬センターが開所したのは昭和54年9月です。当時は高度経済成長の余韻が残る中、インベーダーゲームが流行し、巨人軍に江川選手が入団した年でした。

書類を探していたら成瀬センター開所式の写真を倉庫で見つけました。写真には当時の関係者の皆様が生き活きと写っていて、明るく希望に満ちた笑顔がとても印象的です。写真の中には今では取り壊されてしまった南第二小学校の木造校舎も残っています。今見るとレトロな感じで温かみがありすごく格好いいですね。

先日、一大イベントである成瀬センターまつり（31回目！）が盛大に開かれました。32年以上が経過した今も変わらず成瀬センターは毎日賑わっています。あらためてこの施設は時を越えて皆様に愛されつづけているのだと感じ、とても嬉しい気持ちになりました。いつまでも地域の皆様にとって身近で心のやすらぐ施設であって欲しいと願いながら建替業務に取り組む今日この頃です。

（事務局 K・M・F）

■ 次回の成瀬センターづくり会議は

■日時

平成23年11月20日（日曜日）

13時30分～15時30分（予定）

■場所

成瀬センター ホール

■主なテーマ

建物や施設の作り方について

発行：町田市 市民部 市民総務課

TEL：042-720-1840 FAX：042-723-2946

電子メール：mcity900@city.machida.tokyo.jp